

生息環境の改善でよみがえりつつあります

ホタルと言えばかつては水質の悪化や生息地のコンクリート護岸化により、一時は大変数を減らし生息の危機が危ぶまれたこともありました。

しかし近年は保護活動や生息環境の改善に取り組んだことで、幼虫のエサとなるカワニナやタニシなどの淡水生巻貝類が増え、ホタルが飛び交う水辺を取り戻した地域も多くなりました。

大人のホタルはエサを食べない？

実はホタルの内、淡水の巻貝をエサにしているのは日本で有名な「ゲンジボタル」や「ヘイケボタル」などわずかな種類のみで、その他の種類は湿度の高い陸上でミズやヤスデ、カタツムリなどを食べています。

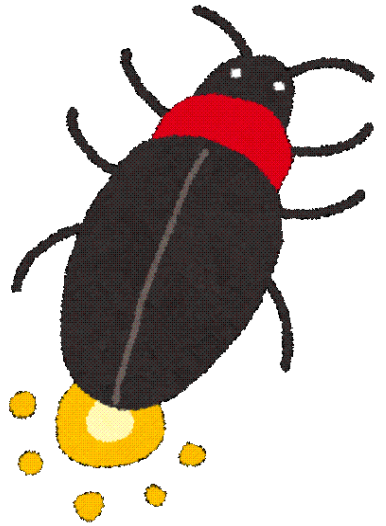
そして成虫になると口に相当する「口器」は退化してわずかな水を摂取することしかできず、幼虫の頃に蓄えた栄養のみで生きていくのです。

ただし、海外の種類には成虫になってもエサを捕る種類もいます。

ホタル狩りに行ってみよう！

ホタル狩りは夏の風物詩であり一度は体験してみたいものですが、トラブルで台無しというのは避けたいもの。また、ほたるは成虫になった後は1～2週間程度で短い命を終えます。次の世代が育っていけるように以下の注意事項を必ず守って楽しみましょう。

- ①活発に行動するのは日没直後の19:00頃から21:00頃その他、何回かに分けてありますが近隣住人の方の迷惑とならないよう日没直後の時間帯を選びましょう。
- ②ホタル狩りに行く前は虫よけスプレーや露出の少ない服を着用し、虫刺されに十分注意しましょう。
- ③ホタルは強い明かりを嫌うので、車のヘッドライトや懐中電灯、カメラのフラッシュなどの使用は厳禁です。
- ④草むらには入らないこと。急な窪みや深い水たまりになっていたり、ヘビなどの危険な生物に出会うことがあります。



ホタル狩りの名所

参考サイト：<http://allabout.co.jp/gm/gc/463681/>

- ◆ 宮城県東和町鱒淵地区：国の天然記念物にも指定されているゲンジボタルの群生地、6月下旬から7月上旬にかけて乱舞する姿が見られます。
- ◆ 千葉県いすみ市山田地区：5月下旬から6月中旬にかけて飛び交うゲンジボタルを見ることができます。
- ◆ 岡山県真庭市北房ほたる公園：6月一杯ホタルが乱舞する姿を目にすることができます。

